

イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 1

— 島牧沖における初漁の漁獲物を測定 —

道総研 中央水産試験場 資源管理部
後志地区水産技術普及指導所 岩内支所

・4月27日時点で体長20mm台後半が多く漁獲されました。前年（20mm台後半～30mm台前半）よりも小さいサイズが多くなりました。

調査の概要

2021年4月27日に島牧海域においてコウナゴの初水揚げがありました。初漁の漁獲物から標本をとって測定しましたので、結果をお知らせします。島牧漁業協同組合をはじめ、調査にご協力いただいた関係者の皆さん、ありがとうございます。

初漁日の体長組成

図は上側が今年の初漁日の体長組成、下側が前年の初漁日の体長組成です。

今年（令和3年）の漁獲物の体長サイズの範囲は17-34mmで、26-27mmのコウナゴが最も多く、20mm台後半のサイズが主体となっていました。

前年（令和2年）は体長サイズの範囲が18mm-39mmであり、20mm台後半から30mm台が主体でしたので、今年は前年よりも小さいサイズが多くなりました。

この26-27mmの群は、5月中旬には40mm前後に成長すると考えられます。

今後も漁獲状況や漁獲物の体長組成の変化を注視していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

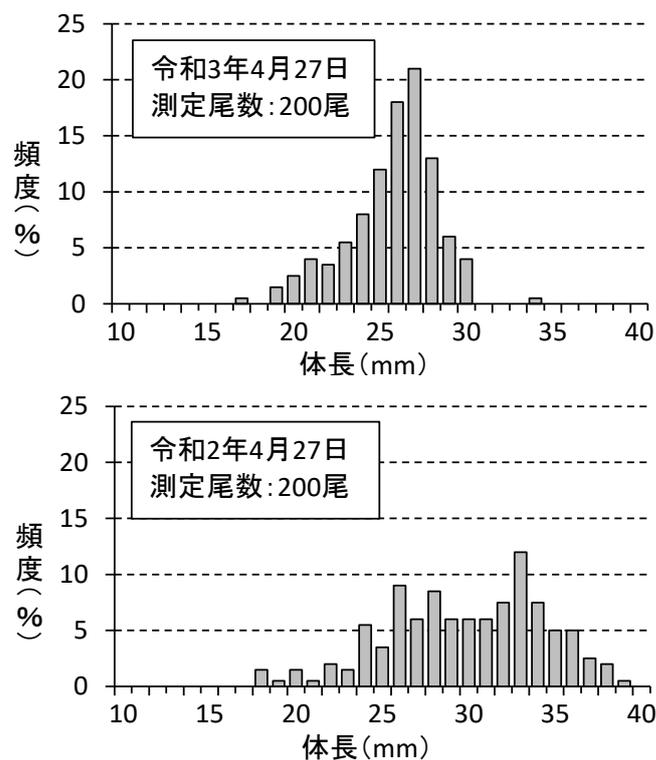


図 令和3年（今年：上）と
令和2年（前年：下）の体長組成